

開発途上国におけるくらしの足 確保のための取り組み

ALMEC

Planning & Management Consultant

株式会社アルメック
太瀬 隆敬

アルメックは都市計画と交通計画を中心としたプランニングコンサルタントです。海外部門では主にJICAより業務を受注し、開発途上国における人々のモビリティ向上に向けた取り組みを行っています。
各国のJICA業務において、本邦のバス事業者様と連携した取り組みをご紹介します。参加者（バス事業者やコンサルタント）の皆さんと、どんな形で協力できるかを考える場にできればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

ボスニアヘルツェゴビナ・セルビア

ボスニアヘルツェゴビナ

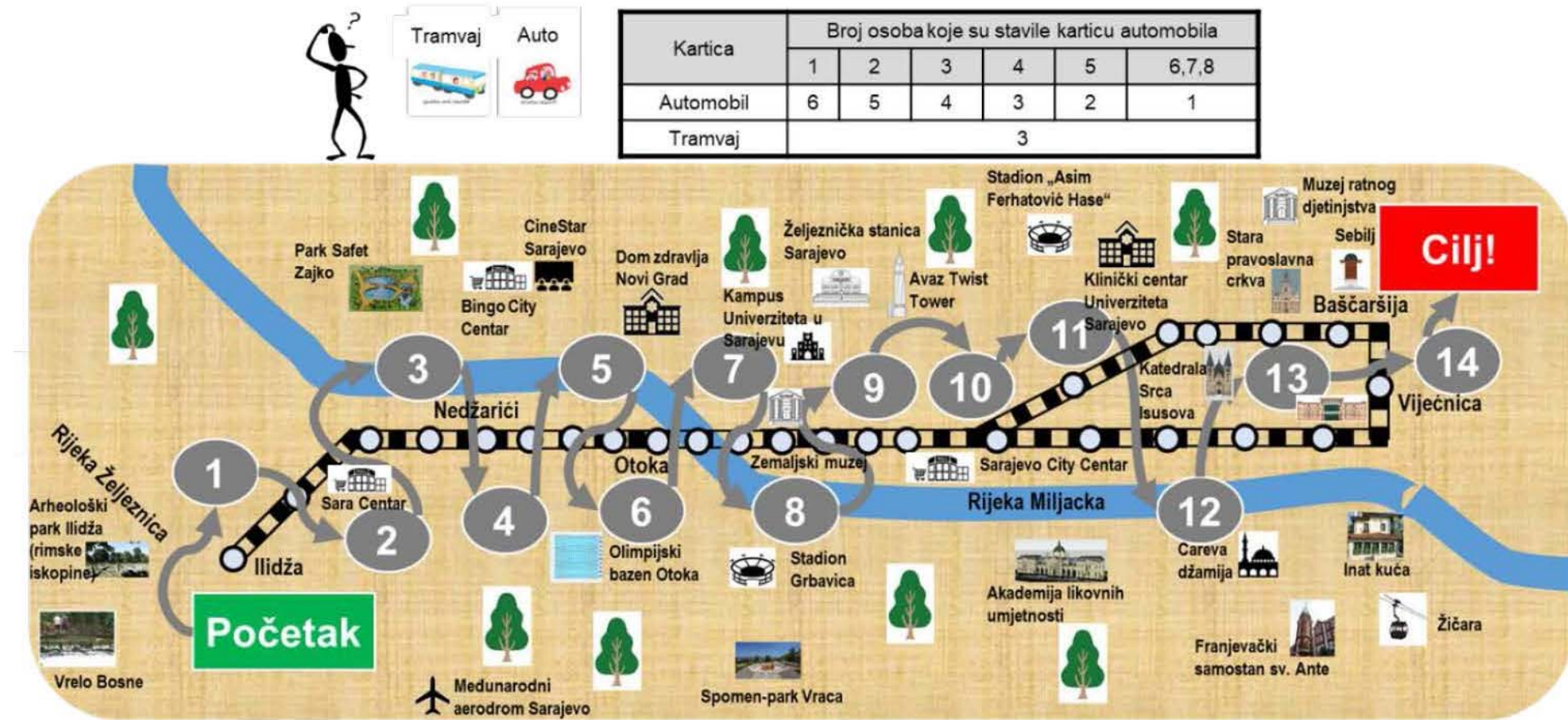
- 案件名：サラエボ県公共交通管理及び運営能力強化計画策定プロジェクト
- 実施期間：2020年10月～2023年11月



セルビア

- 案件名：ベオグラード市公共交通改善プロジェクト
- 実施期間：2020年11月～2024年3月

- 協力バス会社：北海道中央バス様、東京急行電鉄様、西日本鉄道様（研修先として）
- 主なバス関連業務：
 - バスの運行管理に係る研修の実施
 - 地域住民(主に学校)へのモビリティマネジメント実施



交通すぐろくを利用したモビリティマネジメント

ミャンマー：ヤンゴン

- 案件名：ヤンゴン公共バスサービス改善プロジェクト
- 実施期間：2017年12月～2021年8月
- 協力バス会社：神姫バス様（運転士教育専門家、車両維持管理専門家）、横浜市交通局様（外部専門家）
- 業務概要：
ヤンゴンはミャンマー最大の商業都市（人口500万人超）で、急速な都市化により道路渋滞等が深刻化するなか、公共交通の効率性及び快適性の向上、公共交通の利用者の増加等が課題となっていました。新設されたヤンゴン交通庁及び事業者の能力強化に取り組むことで、公共交通サービス向上を目的とした業務です。
- 主なバス関連業務：
 - 主要バス停整備パイロットプロジェクト
 - 運転士教習・車両維持管理マニュアル作成
 - バス事業者の財務管理支援パイロットプロジェクト
 - GTFS作成支援パイロットプロジェクト
 - バスマップ作成（「地球の歩き方」様にも掲載いただきました）



バス停整備（正着指導含む）



バス運転士への実地指導（娑壱）

パラオ

- 案件名：パラオ国環境配慮型交通システム整備プロジェクト
- 実施期間：2023年5月～2026年5月(実施中)
- 協力バス会社：東急バス様（バス運行管理専門家）
- 業務概要：
パラオは人口1.8万人の小さな島国ですが、過度な自動車依存により様々な社会の問題に直面しつつあります。実態調査をふまえた分析や将来予測、マスタープランの作成を進めつつ、市内バス路線の試験運行ならびに中心街とナイトマーケットをつなぐバス運行、モビリティマネジメントなどにも取り組んでおり、パラオの公共交通利用に係る文化を醸成していくことを目指しています。
- 主なバス関連業務：
 - 市内バス路線の試験運行
 - 小型モビリティによるシェアリングサービスの導入検討
 - 地域住民へのモビリティマネジメント実施



市内バス路線 導入車両



交通すぐろくを利用したモビリティマネジメント

エクアドル：キト

- 案件名：公共交通計画策定能力の強化プロジェクト
- 実施期間：2023年7月～2025年1月(実施中)
- 協力バス会社：西日本鉄道様（運行管理・安全管理）、富士急行様（バス事業収支）
- 業務概要：
キト市（人口約280万人）では、路線バスや南北に並行して運行している3路線のBRTとの接続等のモード間乗り換えの効率性や利便性が限定的だったことに加え、2023年12月に開業したメトロ（地下鉄）と路面公共交通との連携強化、公共交通の利便性向上や利用促進に課題がある。そのため、公共交通関係職員の能力強化を目的に現状把握・分析を行い、日本の事例紹介や改善計画策定に必要な助言や技術支援を行う。
- 主なバス関連業務：
 - 日本のバス事業（全般・運行管理・安全教育・運行計画・事業経営）に関するセミナーならびにワークショップの開催
 - キト市交通局職員へのモビリティマネジメント実施



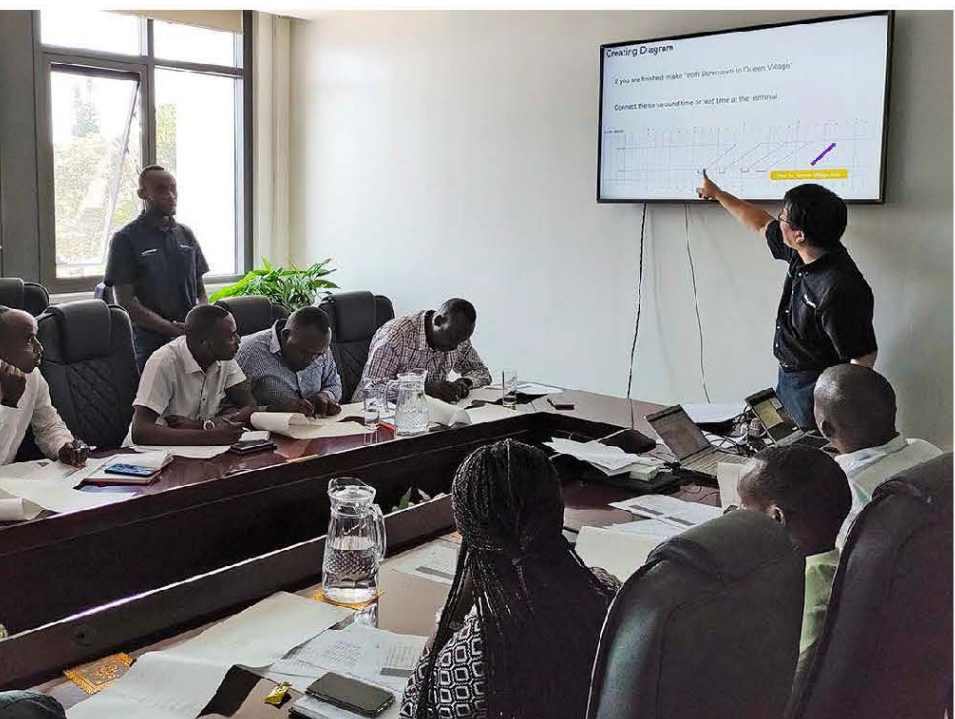
バスターミナル視察



ワークショップ

ルワンダ：キガリ

- 案件名：キガリ市都市交通改善プロジェクト
- 実施期間：2022年2月～2025年3月（実施中）
- 協力バス会社：神奈川中央交通様、西日本鉄道様（本邦研修対応）
- 業務概要：
ルワンダの首都であるキガリ市（人口約130万人）では交通問題の悪化が懸念されており、都市マスタープランで示された解決策についても、実現のための具体的なアクションプランや役割分担が未整備です。公共交通及び交通流管理の政策・施策・計画の整備、および都市交通管理体制の構築を支援することで、持続可能な都市開発のための都市交通モビリティ向上を目的とした業務です。
- 主なバス関連業務：
 - GTFS作成支援パイロットプロジェクト
 - タイムテーブル導入パイロットプロジェクト
 - バスターミナル整備パイロットプロジェクト
 - 運転士教習マニュアル作成（ヤンゴンのものを更新）



タイムテーブル導入に係るトレーニング



運転士教習マニュアル用写真撮影

ベトナム：ビンズオン、ホーチミン

- 案件名：ビンズオン公共交通管理能力向上プロジェクト
- 実施期間：2015年3月～2018年6月
- 協力バス会社：東急バス様（バス運行管理専門家）
- 業務概要：
ホーチミン市の北に接するビンズオン省は、省都の移転も伴った新都心「ビンズオン新都市」を建設中しました。同地域での移動手段はオートバイに大きく依存していますが、新都市建設や都市鉄道の開業を睨み、バス交通を中心とした公共交通システム体系の構築が期待されます。公共交通システムの整備に必要な政策策定と実行に関する組織能力の強化などを支援し、対象地域におけるモータリシフトの促進、公共交通体系を推進させました。
- 主なバス関連業務：
 - 新都市運行バスの運行計画・運賃制度策定
 - バス停改良
 - ICカード導入支援
 - 地域住民へのモビリティマネジメント実施



バス停整備（正着指導含む）



トラベルフィードバックプログラム

赤字で示した活動については、机上に資料を持参しております。